

学校評価アンケート結果分析（学校評価小委員会）

<生徒アンケート結果について>

- A（満足度）コロナ禍にあって、「1. 当てはまる」と「2. どちらかと言えば当てはまる」を合わせて94%（昨年90%）の生徒が肯定的に回答しており、喜ばしい結果であると言える。
- B（学校行事）96%（昨年91%）の生徒が肯定的に回答している。コロナの影響で多くの行事が中止になる中、実施できた行事が、それぞれ充実していることがうかがえる。
- C（学習面）「きちんと勉強している」と回答する生徒の割合が全体の71%（昨年比3ポイント増、「あてはまる」と回答した生徒は昨年比7ポイント増）。その一方で予習復習の習慣がなく課題だけしか行わない生徒もいる。低学年から学習意欲を高め学習習慣の確立を目指す指導を継続して行っていきたい。
- D（週末課題）「役立っている」と回答する生徒の割合が全体の70%（昨年比3ポイント減）。課題の質を担保すると同時に、課題の量については教科を超えた横の連携を行っていききたい。
- E（長期休業中の課題）「役立っている」と回答する生徒の割合が全体の79%（昨年比5ポイント増）。長期休業中の課題調査と調整が行われた結果とも考えられる。
- F（土曜日の学校開放）「役立っている」と回答する生徒の割合が全体の62%（昨年比8ポイント増）。通学時間等で否定的な意見もあるが、特に3年生で一定数以上の学校開放の利用が見られ、休日の学習の場の提供という点からも今後も継続する事が望ましい。
- G（平日課外）肯定的な意見が、昨年度の46%から75%に増えている。また、「回答できない」が34%から16%へ減っており、生徒の積極的な参加状況がうかがえる。実施内容や取組み方法など、教員の工夫の表れではないかと考える。よく分析し、次年度に生かしたい。
- H（土曜講座）「満足している」と回答する生徒の割合が全体の66%（昨年比9ポイント増）。今年度は臨時休校で10回（今年度12回を予定、昨年度は14回）と回数が減ったこと、1年生の英語、数学で習熟度別での実施が可能になったことも一因であると思われる。
- I（夏季課外）今年度は、夏休みが短くなり、夏季課外が実施されていない。
- J（進路意識）95%が肯定的な意見と、昨年同様に高い割合を示している。本校生徒の意識の高さが表れている。この意識に応えられるよう、指導していきたい。
- K、L（進路資料）89%が肯定的な意見である。近年、受験を取り巻く環境が変化しつつあり、少しずつそれらに合わせて改訂をしているのも関係していると思われる。今後も生徒が生かすことのできる内容にしていきたい。
- M（コース説明会）91%が肯定的な意見である。Jの項目と同様に、生徒の進路意識の高さが伺える。より、生徒の役に立てる内容にしていきたい。
- N（学問への招待）昨年度の83%から91%になった。今年度はコロナの影響で、なかなか講師が決まらない状況で、例年通りの内容ではなかったように思う。生徒も大学に対する情報が不足している状況であったことを考えると、例年以上に意義があったと思われる。
- P（遅刻・欠席・早退）96%の生徒が肯定的に回答している。
- Q（頭髪服装指導）98%の生徒が肯定的に回答している。
- R（交通安全指導）99%の生徒が肯定的に回答している。
- S（清掃指導）99%（昨年98%）の生徒が「1. 当てはまる」あるいは「2. どちらかと言えば当てはまる」と回答しておりきわめて高い数値である。
- T（防災意識）「3. どちらかと言えば当てはまらない」「4. 当てはまらない」「5. わからない」と回答した生徒が一昨年は20%、昨年は16%、今年は12%で年々減少している。通常の避難訓練に加えて机上の避難訓練などの取り組みが奏功しているものと思われる。
- U（教育相談）肯定的意見が83%（前年度66%）に増加。質問事項を「本校の先生方は悩み等の相談をしやすい。」から「本校の先生方は悩み等の相談に適切に対応している。」に変更したことによるものだと考えられる。

＜保護者アンケート結果について＞

- A（満足度）昨年と同様に「1. 当てはまる」と「2. どちらかと言えば当てはまる」を合わせて94%（昨年95%）の保護者が肯定的に回答しており、生徒同様に満足度は高いと言える。
- B（関心度）「1. 当てはまる」と「2. どちらかと言えば当てはまる」を合わせて93%（昨年93%）の保護者が肯定的に回答しており、関心度は高いと言える。
- C（学校行事）89%（昨年92%）の保護者が肯定的に回答している。行事の縮小や中止が影響しているものと思われる。
- D（週末課題）83%が肯定的（昨年と同様）。課題に追われて自主勉強ができないとの意見があるが、課題の量を教科間で調整すると同時に、家庭と連携し、休日の適切な時間の使い方等の指導を継続して行っていきたい。
- E（長期休業中課題）85%が肯定的（昨年比2ポイント減）。選択科目に分かれたら、受験に必要な科目に絞って欲しいとの意見もある。長期休業中の家庭学習時間の確保のための指導を家庭と連携して行うとともに、課題調査の結果を学年で共有し、今後も課題の量と質を調整・検討していきたい。
- F（土曜開放）76%が肯定的（昨年比2ポイント増）。当てはまらないとの回答が4%と増加。学習の場を他に設定しているという意見もあるが、休日の学習の場の提供という点からも今後も継続する事が望ましい。
- G（平日課外）昨年同様に81%が肯定的である。次年度以降も、生徒に合わせて改善しながら実施していきたい。
- H（土曜講座）84%が肯定的（昨年比2ポイント増）。実施内容が中途半端、学校が遠い生徒へはオンラインで実施などという意見があるが、実施内容や実施方法については必要に応じて検討していきたい。
- I（夏季課外）今年度は、夏休みが短くなり、夏季課外が実施されていない。
- J、K（進路資料）87%が肯定的な意見である。近年、受験を取り巻く環境が変化しつつあり、少しずつそれらに合わせて改訂をしているのも関係していると思われる。今後も生徒が生かすことのできる内容にしていきたい。
- L（進路説明会）3学年は、例年6月に実施しているが、コロナの関係で実施していない。1学年での文理選択や2学年での科目選択の説明については、保護者の理解を得るために、動画の配信を検討して良いのかもしれない。（動画配信についての保護者の意見もあった。）
- M（進路講演会）肯定的な意見が昨年度の82%から78%へと減少しているが、「回答できない」が増加しており、参加者の減少が関係しているのかもしれない。今後も、保護者に生きた情報を提供できるように検討をしていきたい。
- N（遅刻・欠席・早退）89%の保護者が肯定的に回答している。
- O（頭髪服装指導）90%の保護者が肯定的に回答している。靴下の色や長さの意見が寄せられているが、「靴下も伝統ある制服の一部」としてご理解をいただきたい。
- P（交通安全指導）87%の保護者が肯定的に回答している。
- Q（防災教育）「5. わからない」と回答した保護者が19%（昨年17%）であった。本校の取り組みを積極的に広報していくと理解が進むものと思われる。
- R（教育相談）84%の保護者が肯定的に回答している。否定的な意見については、適切な対応を心掛けたい。

＜職員アンケート結果について＞

- A（学校行事）100%（昨年92%）。全ての職員が肯定的に回答。少ないながらも開催されたものについて、感染症拡大防止に留意しながら、全校をあげて充実した行事の運営がなされたと言える。
- B（学習に関する基本調査）95%が肯定的（昨年比3ポイント増）。生徒の実態を知る上でも今後も継続していきたい。過年度比較や経年比較なども行い、学力向上委員会などで情報を共有するなど、その後の指導に生かすための客観的なデータとして活用していきたい。
- C（土曜開放）82%が肯定的（昨年比2ポイント減）。土曜開放は生徒の休日での自学自習のための学習環境の提供が主な目的であるため、これまで通り実施していきたい。
- D（平日課外）肯定的な意見が昨年度の62%から52%へと減少している。課外開始時刻が16時30分からと遅いことも関係していると思われる。他校の取組みも参考にしつつ、統合新校に向けて検討していきたい。
- E（土曜講座）63%が肯定的（昨年比3ポイント増）。希望制にして意欲のある生徒を伸ばすという目的がよい、拘束時間が長く自主学習の習慣や学習時間の確保に繋がらないとの意見がある。実施方法・内容等について検討をし、職員の共通理解のもと実施していきたい。
- F（長期休業中課外）「どちらかと言えば当てはまらない」が14%から5%に減少し、「回答できない」が5%から13%に増加している。今年度は、夏季休業中の課外が中止になったことと関係があると思われる。
- G、H（進路資料）より詳細な卒業生の受験データが欲しいとの意見があるが、詳細なデータは個人情報との関係で外部には出せない。しかし、より見やすい資料の検討を行いたい。また、教員は、新しくなったweb版のcompassなども参考にしてもらいたい。
- I（志望校検討会議）肯定的な意見が昨年度の65%から76%へと増加している。昨年度から取組み始めた見直しに慣れてきたのかもしれない。今後さらに改善できるところは改善していきたい。
- J（教員用進路指導資料）昨年度より新しくなったweb版のcompassに慣れてきた教員も多いように感じる。これらの積極的な活用もしていきたい。
- K（学問への招待）肯定的な意見が92%であり、有効な進路行事であると感じる。ただ、実施時期や他の進路行事との関連など、進路指導の流れを踏まえてより有効なものにしていきたい。
- L（遅刻・欠席・早退）95%の職員が肯定的に回答している。
- M（頭髮服装指導）90%の職員が肯定的に回答している。
- N（交通安全指導）100%の職員が肯定的に回答している。
- O（教育相談体制）95%の職員が肯定的に回答している。
- P（いじめ防止体制）100%の職員が肯定的に回答している。
- Q（防災教育）97%（昨年98%）の職員が肯定的に回答している。